

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

4頁 聖体奉仕者勉強会

9頁 侍者合宿

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601



共同性と共同識別

司教書に「共同宣教司牧」とは合同で何かをする前に、共同でそのための識別をし、その後、共同で出来ることがあれば、実際に企画し実行することにある。

「共同性」の意味は、「共同責任をもって自分の運営活動を決定、実行していく時に、常に構成員全体の「識別」を持って行われると言う点です」とある。

共同性、共同責任、共同識別を語る時、一つの見落としてはならぬ視点があるのではないか。それはキリストに招かれた者である私達が、信仰者として何を目指すべきかとの視点。それは言うまでもなく、神への視点、キリストのまなざし、聖霊の思いを知つて行うこと。この当たり前のことだが、意外と忘れられているかも知れない。そこで、キリストの神秘体について語る、コリント前12章やエフェソ4章を深く味わつてみたい。そこには、神への絶対的な信仰と愛と希望のまなざしがある。

命かな
忘れて何の
まなざしを

6
2001

鈴鹿教会五十周年

鈴鹿路に福音聞きて 五十年

神の恵みを感謝し祝う

①記念誌
補

牧に活躍され、又、私たちのためにも働いて下さっており、その期待も多くふくらんでいます。

はり祈りであり、ミサであると思うのです。五十年の恵みを感謝したいと思います。

鈴鹿路に泉を見たり
鹿は鳴き水を求める
路にそう花の香りは

去る三月二十日、大塚司教及び、

八名の司祭による共同司式による
感謝のミサが、各教会代表、及び
外国人信徒も参加して行われた。

司教様はミサの中で、「鈴鹿は
外国人の多く在住する教会です。
内外の人々が協力し、努力して、
他の模範となる様な『一つになる』
ことを目指す教会であつて欲しい
ものです」と強く強調された。

ミサ後、聖堂で記念祝典が行わ
れ、祝いの詞を頂き、その後、婦
人会心づくしの手料理による食事
と懇親会が開かれ、なつかしい人々
との出会いも楽しみました。

五十周年に際し、教皇特別掩祝
の証状も披露され、記念の証とな
りました。

尚、この祝いが靈的な刷新に繋
がるためにも、大聖年に始めた、
聖書の連続講座を五十周年行事の
一つとする様に計画しています。

「講演会とコンサート」
また広く市民の方々にも、何か

感謝の心を表したいと、講演会と
音楽会を計画し、四月八日、鈴鹿

市文化会館において、遠藤周作氏
夫人、遠藤順子さんの、「新世紀
の祈り―夫の宿題」と題して講演
をしていただき、大きな感銘を与
えました。

第二部は、川口豊(バス)の歌
と、佐藤恵子・金子登美子さんの
ピアノ演奏。アンコールでは川口
さんの軽妙な勧めで場内全員によ
る大合唱となりました。

幸いチケットも完売され、当日
の参加者は四百人以上に及びまし
た。尚この入場料は、鈴鹿市図書
館の児童図書購入のために全額を
寄付することが出来ました。

創立記念ミサのテーマ、「一つ
になろう」は、今後の当教会の宿
題として残され、それは日本人信
徒だけでなく、日本人信徒よりも
かに多いと思われる滞日外国人
信徒と共に目ざして行きたいと考
えています。幸いロハス・ブルー
ノ師が、当教会に在住し、その司

「五十年の歩み」と題して記念誌
を作りました。一つユニークなこ
とと言えば、出来るだけ多くの方々
に参加していただこうと、一人一
言を書いていただきました。それ
は、「カトリック鈴鹿教会、おめ
でとう創立五十周年 神様ありが
とうございます。ルルドの聖母

私達のために 祈って下さい。」
と言う言葉をどこかに入れて一人
一言。

②創立五十周年記念ミサ式次第

この教会は国際色豊かな教会で
すから、出来るだけ自分の言葉で
参加して頂きたいと、四カ国語の
歌を分担して準備しました。でも

残念ながら日本の祝祭日でも休み
ではないのか、フィリピンの方々
の外は、あまり出席されませんで
した。

谷川に 水求めたる 鈴鹿あり
(村上透磨)



四月八日、鈴鹿市文化会館

新世紀えの祈り —夫の宿題—

遠藤順子

教会創立50周年を祝い、カトリック鈴鹿教会では、故遠藤周作氏夫人、遠藤順子さんの講演会を開いた。夫人は「夫の宿題」というエッセイを出版され、これが大反響をまき起こし、その講演会を通しても深い感動を呼んでいる。

当日も神戸で講演を終えてかけつけて下さった。以下その講演の要旨を紹介する。

テーマは三つ

①人の生と死の意味、
②人にやさしい医療、
③キリスト教の土着

この三つは故周作氏より残された宿題として、取組んでおられる。その心温まる話は、人々の共感を呼び起こし、特に医療機関にたずさわる方々に感動を与えた。

さてこの報告書を書きながら、私は正確にメモをとっていないことを気に付いた。特に①の死はおりではないということについて：だからたぶんこんな事だったと思う。「死は愛する人が迎えに来る」

てくれる事なんだ。

臨終の時、手を握ったままであったが（手を握ることがどれほど死に行く人の心をなごませるものであるかも書いておられる）

主人の顔が歓喜に変容も

「俺はもう光の中に入った。おふくろにも、兄貴にも逢ったから安心しろ」というメッセージを感じた。私たちにとって死は終わりではなく、復活の信仰に生かされているのだ、という様な内容だったと思う。

②心あたたかい医療については、周作氏自身が、現代医療のはざまで苦しめられた一人として、心あたたかな医療問題への取組をされたことが話された。

医はアートではなくハートだ。患者の中にキリストを見る心。医者の仕事は魂と交わること。優しい思いやりの言葉の大切さ。医者の生命のクオリティではなく患者の生命のクオリティを大切にすべきこと。

最後の時間は家族に帰し、安らかな時間を演出すること等の重要性などを力説された。

③の宿題は、キリスト教の受容、

が氏の生涯をかけての取組であることである。日本人に合わない、

だぶだぶの洋服を着せられた様な

この信仰を何とかして、私の宗教、私の文化として受容できる様、努めた宣教者（この言葉は私の表現）

であった事を解らせていただきた。講演が終わって、特に教会関係の人々と話し合う時間が持たれ、

そこでもう少しつこんだ話がなされた。その話の中から、彼は一

人の文学者として、福音を宣べ伝えようとした、一人の宣教師であったのではないか、と言うことがある

のではないか、と言ふことがあります。それ

は遠藤周作氏の心をくんだ夫人の願い。殉教者だけでなく転んだ全ての犠牲者追悼ミサが行われたという事なのです。

(村上透磨)



教区力トリック協議会

一 共同宣教司牧を推進するための具体案一

三日(土)行われた第九回カトルック京都司教区・教区力トリック協議会の内容を報告します。

正式な議事録は各小教区・修道院に送付されています。議題は次の通りでした。

1 共同宣教司牧を推進するための具体案(分科会形式で話し合い・発表)

2 同右(全体会での発表と京都南地区西ブロックの評価事例報告)

3 司教講評と意見発表

4 司教からの課題

◆共同宣教司牧を推進するための具体策(分科会)

司教年頭教書を読んで、一人ひとりの委員が考へてきた具体案を分科会形式で話し合つた。

◆分科会の話し合いの内容を各ブロックから発表した。

*京都北部地区 大聖年行事で盛り上がったところをさめないうちに生かして行くため、教会間の合同懇親会などの連携をすすめる。

それが信者全員に伝わって、京都北部みんなで動けるようになる。

▼京都南地区西ブロック(桂・九条・西院・長岡)からの事例報告

まず信者の意識が変わった。意

識が変われば、制度が変わる。
小教区からの脱皮として、「私の教会」から「私たちの教会」へ・個人ではなくチームとして責任を担

*京都南部地区 西ブロックでの共同宣教司牧への取り組みを参考にしながら、時間をかけて司教書

簡の内容の理解を深め、各教会の信徒の意識を深めていく。そうして信徒がその必要性を受け止め、

信徒の中からやつていこうという動きが出てくることが重要である。

*滋賀地区 順調な湖西ブロック

の歩みを参考しながら、信者の信仰改革の意識をどのように高めていくか、具体的な案をこれから真剣に考へていく。

*奈良地区 八教会の合同行事を通じて少しずつ深まっているので、司祭たちのチームワークの模範に倣って歩んでいく。

*三重地区 司祭と信徒の意識改

革をする。司祭のチームとしての基本計画、司牧方針を待つて進めるが、チーム毎に差が出ることもあるので、少なくとも最低限、共同宣教司牧についての「役割」と「責任」を決めておくことも必要ではないか。

と要ではないか。

◆司教からの次回までの課題

(1) 共同宣教司牧への意識改革をすすめる。

(2) 共同宣教司牧を推進するため

に必要な各地区固有の課題を識別して、これを実践し、その動きを協議会で分かち合う。

(3) 教区レベルで推進するための具体的な提案を考える。

以上のことに関して、各小教区で話し合う時間をもつ。次回にその発表を聞く。

◆出席者
【主宰者】大塚司教

【三重代表】荒田和彦、別宮道夫、Sr岩間尚子、オヘール師

【滋賀代表】今井章夫、北條勝子、Sr野元節、瀧野師(ジャクソン師代理)

【京都北部代表】藤村嘉彦、レサール師

【京都南部代表】松崎茂、奥本裕昭、Sr友野都、ボアベール師

【青年センター】佐藤紀子

【司教総代理】村上(眞)師

【本部事務局長】森田師

【書記局】山本信子、奥本裕、湊路易

【欠席者】細野乃武夫、Sr渡辺嘉子、ハイメ師、ブルーノ師、P.A.G-A.S.A.コミュニティ代表、梅原けい子



カトリック福音センター養成コース カトリック 福音センター ニュース



祈りのコースに寄せて

一心の泉から水をくみ分かち合う一

「みながひとつになるように」とキリストは切
に祈り、その業を行われました。

21世紀に入って、大地、自然、宇宙と調和し周
りの人々に愛・福音をもたらすような生き方が求
められています。

「私たちの心になすべき事を知る力が与えられ
ている」と聖書にあるように、その鍵は一人ひと
りの内面にもあり、自分の内にある神に気づかせ
て頂く事、そして一人ひとりの中で働くとして
おられる"神様の命"を自覚し、そこから力をいた
だいて人々と共に生きていく事ではないでしょう

か。

それには静かな時を持ち、内面から力を汲み出
していく祈りが必要です。福音センターでは、洗
礼を受けた全ての人が神様から頂いた使命を果た
すために欠くことの出来ない要素として祈りのコ
ースを準備し実施しています。

琵琶湖の素晴らしい景色を目前に神様と交わる
ひとときを過ごしてみませんか？

きっと、心の深みに祈る事の喜びと、周りにも福
音をもたらす知恵と力を得る事が出来るでしょう。

日 時：2001年6月22日(金) 16時～24日(日)15時半

会 場：唐崎 ノートルダム祈りの家 電話 077-579-2884

大津市唐崎・JR湖西線唐崎駅下車 徒歩10分

講 師：松本秀友神父 ・ センタースタッフ

申込方法 6月12日(火)迄に./

氏名、住所、電話、郵便番号をご記入の上

参加費用 20,000円をそえて、下記へお送り下さい。

郵便振替口座の場合 14460-27065111

カトリックきょうと福音センター

申込先・問い合わせ

〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26

カトリック福音センター

養成コース TEL 075-822-7123

FAX 075-822-7020



良い便りを伝えるイエスの祈り

今年の典礼の中で朗読されているルカ福音書では、イエスは良い便りを伝える方として描かれています。それだけではなく、ご自分が選んだ弟子たちを福音宣教者として育てていくのです。

イエスの宣教活動の始めから、その祈る姿が紹介されます。

◎ 洗礼の時「祈っておられると」イエスが誰か、また「その使命は何か」が神によって告げられます。「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」。

◎ 山でイエスの姿が変わり、神がイエスを弟子達に示す場面(9・28~36)があります。この出来事も「イエスが祈っておられるうちに」行われます。

◎ 使徒達の選びに際して、「その頃、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。朝になると弟子達を呼び集め、12人を選んで使徒と名付けられた」(6・12~13)と、はっきりとイエスの祈る姿が浮き彫りにされます。

イエスの祈りによって天が開き、祈りのうちに12使徒を選び、祈った後弟子達にご自分の正体を現し、祈っておられるとイエスは変容されました。ご自分の祈りの後弟子達に主の祈りを教え、そして受難の間、イエスの祈る姿は頻繁に出てきます。「父よ、私の靈を御手にゆだねます」(23・46)。このように、イエスの生涯は祈りのうちに終わります。祈りに包まれた、良い便りを伝えるイエスを見ると、良い知らせを伝える使命を与えられている私達にとって、祈りがいかに大切かが分かります。

共同宣教司牧の目的は、大塚司教様の年頭書簡にありますように、日本のカトリック教会を、以前にも増して、いや抜本的に『福音宣教する教会』へと変革していくことです。共同体を良い便りを伝える群にする聖靈を待ち望みながら、イエスの弟子達は「心を合わせて熱心に祈っていた」(使徒言行録1・14)。わたしたちも良い便りを体験し、それを伝える力を頂くように祈っていきたいものです。

絶えず祈りなさい

(一テサ 5・17)



第17回 結婚講座(お問合せは福音センターへ)

月 日	時 間	テ マ	時 間	テ マ
7月14日(土)	am 10:30~12:00	人間の創造	pm 1:30~ 3:00	愛の契約と絆
7月28日(土)	am 10:30~12:00	幸せ多き結婚の為に	pm 1:30~ 3:00	夫婦の対話
8月4日(土)	pm 2:00~ 4:00	人間の成長と発達		

教区委員会担当司祭

(2001・5現在)

〈教区委員会〉

PAG—ASAコミュニティ
L・ホルステインク

〈教区諸活動、諸組織〉

▼「カトリック福祉委員会」A・バルデス(兼カリタス・ジャパン京都)
教区担当

▼「カトリック福音センター」
J・ラレス(所長)

▼「カトリック学校連絡会」 大塚喜直(協力)三宅秀和

Y・ボアベール(担当司祭)
花井拓夫

〈教区総括関係〉

▼「京都司教・教区長」大塚喜直

▼「司教総代理」村上真理雄

▼「司教顧問会」

大塚喜直(法人代表役員)

村上真理雄、森田直樹、松本

秀友、柳本昭(法人責任役員)

滝野正三郎、東門陽二郎(顧問)

小野十益、花井拓夫(監事)

谷口秀夫、東門陽二郎、滝野正三郎、K・タロク、R・ネリゲ

▼「教区本部事務局」

局長 森田直樹

次長 北村善朗

▼「教区カトリック協議会」

村上透磨、K・タロク、J・ジヤクソン、N・レサ

▼「国際協力委員会」 P・オヘール(教区担当)

▼「滯日外国人と連帯する会」 担当兼任)、柳本昭

大塚喜直、村上真理雄、森田直樹、J・ラレス、R・ブルーノ

▼「生涯養成担当」J・ラレス、B・ロハス(責任者)、J・ハーメル

▼「青少年委員会」 大塚喜直(協力)三宅秀和

京都南部地区 外崎 豊

京都北部地区 谷口秀夫、近藤 勉

滋賀地区 K・タロク、K・ハンロン

奈良地区 滝野正三郎、外崎 豊

K・タロク

中学生広島巡礼 三宅秀和、北村善朗

アジア体験学習 P・オヘール

▼「カトリック正義と平和協議会」 J・ロペス

▼「カトリック青少年委員会」 P・オヘール

▼「カトリック女性委員会」 J・ラレス、北村善朗

▼「カトリック青年委員会」 P・オヘール

▼「カトリック女性委員会」 J・ラレス、北村善朗

▼「カトリック女性委員会」 P・オヘール

▼「カトリック女性委員会」 J・ラレス、北村善朗

▼「カトリック女性委員会」 P・オヘール

▼「カトリック女性委員会」 J・ラレス、北村善朗

▼「日本カトリック保育施設協会」(相談窓口) 村上真理雄

▼「日本カトリック幼稚園連盟」 花井拓夫

▼「日本カトリック看護教会」 Y・ボアベール(担当司祭)

▼「日本カトリック刑務所」 花井拓夫(滋賀刑務所)

▼「京都刑務所」 東門陽二郎(京都刑務所)

▼「奈良少年刑務所」 濱崎 敦(奈良少年刑務所)

▼「京都拘置所」 Y・ボアベール(京都拘置所)

▼「子羊会」(相談役) F・オガンド

▼「聴覚障害者の会」柳本 昭

▼「諸宗教対話担当」花井拓夫、L・ホルスティング

▼「典礼委員会」村上透磨、森田 直樹、北村善朗

▼「聖書委員会」村上透磨、J・ラレス、北村善朗

▼「信仰教育委員会」北村善朗、松本秀友

▼「生涯養成担当」J・ラレス、松本秀友、村上透磨、P・ウイックス

▼「親交会」小野十益

▼「祈祷の使徒会」 教区本部事務局

▼「レジオ・マリエ」(京都コミチ ウム) 村上真理雄

▼「カトリック京都司教区 代表」L・ホルステインク、北村善朗

侍者合宿

信仰教育委員会

今年度も、洛星の宗教研究館を会場に、小学生侍者合宿が行われました。三十五名（男子二十二名、女子十三名）の参加者とスタッフ十八名（男女のスタッフ十名、シスター五名、助祭と司祭二名）で

一つの共同体が出来ていい、共同宣教司牧の一つの場でした。

ミサについてのお話、侍者とはどういう役割を持つのか、侍者の心得、そして実際の練習、聖書の朗読、書写、御室八十八カ所の奉仕を致しました。初日の練習の様子から大きく変化する最終日の奉仕に、子供たちが三日間本当に努力したこと、多くの友人が出来たことを感じさせられました。ここに何人かの感想文を紹介致します。

初めての侍者合宿
四年 河原町教会 栗山 透
今年初めての侍者合宿なので少しきんちょうしました。でもはじ



めての人が多かったのできんちようしなくなりました。侍者合宿で一番楽しかったのは、まくらなげと遠足でした。一番大へんだったことは、せい香油ミサの練習の第一日目です。一番うれしかったことは友だちがふえたことです。ぼくは侍者合宿が好きになりました。また来年も行きたいです。

て楽しかったので、「行きたい」といって、「いいで」といわれたのできました。そして友達もいっぱいできたのでうれしいです。それに侍者の練習でいろいろなことをまんで、ろう読のわかりやすい読み方も勉強したので、そのろう読のわかりやすい読みかたをしたいと思います。だから侍者合宿に来てよかったです。

五年 大和郡山教会 多喜ひかる
わたしは、昨年も侍者合宿に来てとても楽しかった

聖こう油ミサをしました。とても楽しかったです。

二日目は侍者練習を二回しました。遠足にも行きました。三日目には聖こう油ミサをしました。とても楽しかったです。

なので、少しきんちようしていまして。ぼくがなぜ、この侍者合宿に参加したかというと、お母さんが「一度、参加してみたら」と言つたからです。ぼくも一度参加してみたかったからです。ぼくは、お母さんと一緒にバスに乗って、洛星の宿泊所に行きました。一日目は聖ヨゼフ聖母園で食べました。二日目は侍者練習を二回しました。

京都教区中学生会春の合宿

佐藤紀子
(青年センター専従者)

三月二十九日から三十一日にかけて唐崎メリノールハウスにて京都教区中学生会春の合宿が、中学生九名、リーダー九名、担当司祭二名の総勢二十名で行われました。

子どもから大人へと、理性的、感性的発達の目覚ましい時期を迎える中学生たちが、実際の日常生活と少し離れ、同世代の仲間たちとともに過ごした時間は、中学生たちにとって、とても貴重な経験となつたことだと思います。

特に今回、準備の段階において、子どもから大人へ、とても不安定な過渡期に当たる中学生たちの実状を踏まえて、『キリストの信仰』をどのように伝えるのかということを、改めて青年リーダー、担当司祭がともに見て見直しました。この見直しは、合宿に



おいて実際に中学生と接するリーダーにとって、自分たち自身の信仰を見つめ直すとても良いきっかけになつたことだと思います。

大人への基礎固めに非常に重要な過程を生きる中学生の、信仰者としての育成のために、これからも教区中学生会としては春・夏・冬の年三回の合宿を通して、担当司祭・青年リーダー、そして中学生がともになって信頼体験・社会体験などさまざまな体験を共有し、分かち合い、育成されることに重点を置きながら、合宿をすすめて参りたいと思っております。

この夏にはたくさんの中学生の皆さんとお会いできるのを楽しみにしながら、夏の合宿の準備をしております。

次回の夏の合宿は、

八月二十一日(火)から二十三日(木)にかけて行われる予定です。詳細は青年センターまでお問合せください。

この夏にはたくさんの中学生の皆さんとお会いできるのを楽しみにしながら、夏の合宿の準備をしております。

三六五日のそれぞれ代表的な聖人とその他の聖人を紹介し、贈り物のヒントや、この日に生れた著名人や有名人からタレントまで紹介しております。

税別千五百円。

良書紹介

私たちの信仰生活に、潤いと希望を与える、分かりやすい良

聖人について、聖書に書かれているリーダーシップのとりかた書を紹介します。今回は守護の

聖人について、それぞれ一冊ずつ選びました(編集者)。

★守護の聖人について

鹿島茂編著

『バースデイ・セイント』

飛鳥新社 2000

この世に生を受けた以上、

「あなた」にも守護聖人!マイ・

セイントはいる! 守護聖人が

示す「あなた」の潜在能力を知

り、幸運をつかんでください。

気鋭のフランス文学者が「あ

なた」に贈る素晴らしいプレゼ

ント! (帯の表書きより)

★聖書に書き込まれているリーダーシップの知恵

チャールズ・C・マンツ著

中山宥記

『イエスのEメール』

PHP研究所 1999

『最高の上司』になる

シンプルな方法』

イエスの鋭い、しかし実践の難しい教えには、リーダーシップに役立つ情報がたくさん含まれています。力強く部下を従わせるのも、ごく短期的には効果があるのかも知れません。しかし、イエスが説いているリーダーシップは、もつとはるかに長期的な効果をあらわします。

そして、リーダー側も、リーダーに従う側も、行動に磨きをかけることができるでしょう。

人気コンサルタントが『聖書』を解説してつかんだ、組織を動かし、部下の心をつかむ画期的なリーダー論。

税別千四百五十円。

お
知
ら
せ

聖靈降臨の主日

6月3日(日)

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読2日(土)

奥村一郎師10時~16時 場所 河原町カトリック会館 費用二千円、

持参品 聖書・筆記用具・ノート申込み 聖書委員会電話075(211)3484

▼聖書講座シリーズ「はじめと終り」6・7日松本秀友師、13・14日金 纓牧師、20・21日森一弘司教、27・28日大塚喜直司教

◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体贊美式 第一日曜日16時30分河原町教会、第三土曜日16時30分衣笠カルメル修道会

◆信仰教育委員会▼みことばを聴こう(聖ドミニコ女子修道会共催)

塩田泉神父(浦和教区)7月1日(日)9時半~17時半 場所 聖ドミニコ女子修道院 対象 青年男女 会費500円(昼食費)申込み 電話・FAX、葉書で安達まで、締切6月24日(日)午後6時00時15分

◆西陣教会▼信睦二金会第二金曜

男女会費500円(昼食費)申込み 電話・FAX、葉書で安達まで、締切6月24日(日)午後6時00時15分

◆唐崎教会▼癒しのコンサート

0841京都市上京区河原町今出

地区から

◆滋賀カトリック協議会▼典礼研修会「典礼と福音宣教・このよい

たより」9日(土)10時~15時。講師 福音センタースタッフ。場

所 唐崎メリノールハウス。六百円(昼食代含む)。申込は滋賀県各教会の信徒会長へ▼協議会例会

17日(日)13時半~16時 彦根教

会平和奈良協議会24日(日)14時西

大和カトリックセンター テーマ部落問題について。

◆奈良カトリック協議会▼正義と

平和奈良協議会24日(日)14時西

大和カトリックセンター テーマ部落問題について。

小教区から

◆聖パウロ幼稚園▼創立30周年記念26日(火)9時半

◆レジオ・マリエ▼コミチウム17日(日)13時半 河原町会館6階ホール

◆カナの会結婚相談室▼3日(日)13時 河原町教会6階ホール

◆京都キリスト研究会▼定例会24日(日)14時 河原町会館6階ホール

◆聖ビンセント・ア・パウロ会24日(日)何れも13時中央理事会24日(日)何れも13時

ホール

◆在世フランス会京都兄弟会16日(土)13時半 フランス

◆シスター・ヴィヴィエン・ヘズレット(ノートルダム教育修道女会)ト

が4月17日アメリカで帰天されました。84歳でした。永遠の安息

のためにお祈りください。

◆北白川教会▼第17回聖ヴァイアトーネによるバロックコンサート

ル教会コンサートフルートとチエ

ンバロによるバロックコンサート

3日(日)14時開演 フルート/

リコーダー福永吉宏、チエンバロ江口恭子 入場料二千円(学生・

70歳以上千五百円)

◆コーキュレステ▼練習日第2、

第4、第5木曜日10時~12時 河原町会館6階ホール(4月17日現在)

教育関係施設から

◆諸施設・諸活動から

◆レジオ・マリエ▼コミチウム17日(日)13時半 河原町会館6階

◆カナの会結婚相談室▼3日(日)13時 河原町教会6階ホール

◆京都キリスト研究会▼定例会24日(日)何れも13時

ホール

◆聖ビンセント・ア・パウロ会16日(土)13時半 フランス

◆シスター・ヴィヴィエン・ヘズレット(ノートルダム教育修道女会)ト

が4月17日アメリカで帰天されました。84歳でした。永遠の安息

のためにお祈りください。

◆青谷教会にFAXを設置。番号

0774(52)0116

◆「一万匹の蟻運動」基金報告

累計 一八、四六六、一二三二円

(4月17日現在)

お知らせ

川根井町448聖ドミニコ女子修道院電075(231)2017 FAX075(222)257

n唐崎24日(日)16時~18時。会費二千五百円(大人)。問合せ077(579)1487田中

19時 河原町会館6階(土)14時 河原町教会地下聖堂指導ペトロ神父(フランシスコ・カブチン会)

▼ロザリオの祈りとごミサ 9日(土)14時 河原町教会地下聖堂指導ペトロ神父(フランシスコ・カブチン会)

3 ◆滋賀カトリック協議会▼典礼研修会「典礼と福音宣教・このよい

たより」9日(土)10時~15時。講師福音センタースタッフ。場所唐崎メリノールハウス。六百円(昼食代含む)。申込は滋賀県各教会の信徒会長へ▼協議会例会

17日(日)13時半~16時 彦根教会平和奈良協議会24日(日)14時西

◆奈良カトリック協議会▼正義と平和奈良協議会24日(日)14時西

◆カナの会結婚相談室▼3日(日)13時 河原町教会6階ホール

◆レジオ・マリエ▼コミチウム17日(日)13時半 河原町会館6階

◆聖パウロ幼稚園▼創立30周年記念26日(火)9時半

◆シスター・ヴィヴィエン・ヘズレット(ノートルダム教育修道女会)ト

が4月23日アメリカで帰天されました。90歳でした。彦根、伏見、上野、名張教会など京都教区のためにいろいろご奉仕してくださいました。永遠の安息のためにお祈りください。

京都教区のためにいろいろご奉仕してくださいました。永遠の安息のためにお祈りください。

◆クラレンス・ウイツテ師(メリノール宣教会)が4月23日アメリカで帰天されました。90歳でした。

京都教区のためにいろいろご奉仕してくださいました。永遠の安息のためにお祈りください。

大塚司教の

6月のスケジュール

3日(日)	聖靈降臨
5日(火)	堅信式(河原町)10時半 教区幼稚園連盟園長会
6日(水)	K・K(機構改革)委員会15時 10時
7日(木)	常任司教委員会10時 東京カトリック神学院常任委員会16時
9日(土)	故ウイッテ神父追悼ミサ(河原町)15時
10日(日)	三重地区合同堅信式(津教会)
11日(月)~16日(土)	休暇
18日(月)~22日(金)	司教総会
24日(日)	洗礼者聖ヨハネの誕生
26日(火)	聖バウロ幼稚園創立30周年記念会
27日(水)	司教顧問会・責任役員会10時
28日(木)	聖書講座19時半
30日(土)	教区カトリック協議会14時

◆編集部からのお知らせ
お知らせに載せたい情報は、
月号でしたら6月18日までに、
月号でしたら7月16日までに、
京都教区事務局内「京都教区時報」
宛にお願いします。

◆教会情報誌(教会報)

教区時報編集委員会では、各小

教区でどのような教会報をつくつておられるか知るために、ここ一

年内に発行された教会報の最新版を送っていただきました。

その結果、57教会のうち22教会から教会報をお送りいただきました。教会の名前は伏せて、その名前を列挙しますから、どれがどこ

の教会のものかお分かりですか。

イクトウス、○○○、あにゅすで、えくれしあ、ひとつぶ種、

みこころ、○○○教会報、信徒会通信、○月の風、湖畔の聖母、○

○のきずな、麦の穂、丘の星、カトリック○○教会報、でめきん、

旅路、教会だより、カトリック○

○会報、ECHO、○の星、教会便り

その後発行されたところでも、お送りいただければ嬉しいです。

お 知 ら せ

久居教会 岸 里 実

しなびてしわが寄り、芽が伸びてしまったジャガイモ。土が

ついたままなので、むいているうちに黒ずんでしまった。切れ

ない包丁で押すように切つてい

る時、ようやく実感しました。

怒りではなく、悲しみ。うら

みではなく、疲れや失望。わた

しはおじさんたちから、言葉な

き思いを感じました。

雨に打たれて列を作る炊き出

しの行列を前に、どんぶり飯を

食べました。お腹を空かせた労働者の前で、まずボランティア

が食事をする決まりになっていました。喉をなかなか通らない

ようと思えたご飯は、わたしの気持ちを裏切り、するすると美

味しく入っていきました。

同じ食べ物を分かち合った時

ようやく思えました。彼らは私

の人生と無関係ではないのではないか。

答えのない宿題を手に、帰つて来ました。

金ヶ崎へ行く前、わたしは想像していました。社会の底辺のこの町へ追いやられ、いわれなく、家もなく、その日々を暮らす彼ら。きっと、眼は怒りに燃

えているのだろう。社会をうらみ、すさんでいるのではないか。

実際あの町へ立った今、わた

しは自分の思い込みや無知を恥ずかしいと思いました。彼らの眼は、顔は、全く想像と違つていたのです。